

○評価基準

区分	評価項目	評価基準	評価段階	ウェイト	配点
委託業務	1 ◆業務品質の確保 各種委託業務における正確性、 合規性を確保するための取組に ついて	①入力ミスや封入ミス等の発生を防止するための効果的な 対策、また万が一ミス等が発生した場合の対策等の取組み ②関係法令、本県の運用通知等を遵守するとともに、従事 者に対する内部統制の徹底による意識向上、研修などによ る資質向上のための取組み 上記について、的確でかつ具体的に示されている場合に優 位に評価する	5	×2	10
	2 ◆セキュリティ対策 守秘義務及び個人情報保護対 策に向けた取組みについて	仕様書に示す業務で取り扱う個人情報や、執務室を含む庁 舎内で知り得た情報について、守秘義務の徹底、漏洩防止 に向けた取組み 上記について、的確でかつ具体的に示されている場合や、 情報セキュリティマネジメントシステム適合性評価制度 (IS MS) 又はプライバシーマークなどによる情報セキュリティに 関する資格を有している場合に優位に評価する	5	×2	10
	3 ◆業務実施体制の構築 繁忙期の対応、及び業務量を踏 まえた年間の人員配置計画、効 率的な事務遂行のための事務 分担、並びに業務体制について	①業務量を踏まえた年間人員配置計画の提案 ②県の就業時間に合わせた業務時間や、業務スケジュ ールを考慮した人員配置、業務分担の提案 ③効率的な事務遂行が可能な業務体制や作業手順の創意 工夫、また受託業者、総括責任者、業務従事者間でフォ ローアップできる仕組みなどの提案 ④万が一期日までに作業が完了しない見込みとなった場合 の対応 上記について、的確でかつ具体的に示されている場合に優 位に評価する	5	×6	30
	4 ◆総括責任者・業務従事者の経 験、実績 業務マネジメントを行うための責 任者の経験実績や、繁忙期に 対応できる経験や実績のある従 事者の確保、また代替要員の確 保について	①本業務の従事に役立つスキル等、経験のある者の確保 ②病気休暇(風邪等)による欠勤など不測の事態が生じた 場合の代替人員の確保対策 上記について、当委託を行う上で、効果的な人員確保が示 されている場合に優位に評価する	5	×5	25
過去の 受託実績	5 過去5年以内の受託実績につ いて ※現在履行中のものも含む	過去5年以内における、国又は地方公共団体からの種類及 び規模が同等以上の業務の受託実績について ①5件以上、②3件以上5件未満、③3件未満 ※契約金額については、1つの契約における金額とし、複数 年契約の場合はその契約額を1年間に換算した金額とす る。 ※平成28年4月1日以降に業務を履行又は現在履行中の 契約について、その契約内容、契約金額、契約期間が確認 できる書類(契約書、仕様書等)を提出して下さい。	①15 ②12 ③8	—	15
見積額	6 見積額の妥当性	・各経費項目の積算が妥当であるか ・必要経費が見積もられているか ※ここでは、見積内容の妥当性の評価であって、合計金額 が高い・安いの評価は行いません。	5	×2	10

※評価点は、過去の受託実績を除き、評価委員による5段階評価を行い(①大変優れている 5点、②優れている 4点、③普通 3点、④やや劣っている 2点、⑤ 劣っている 1点)ウェイトを乗じて点数化する。